

50 男性の育児休業取得状況はどうなっていますか。

本県の男性の育児休業取得率は8.6%となっています。

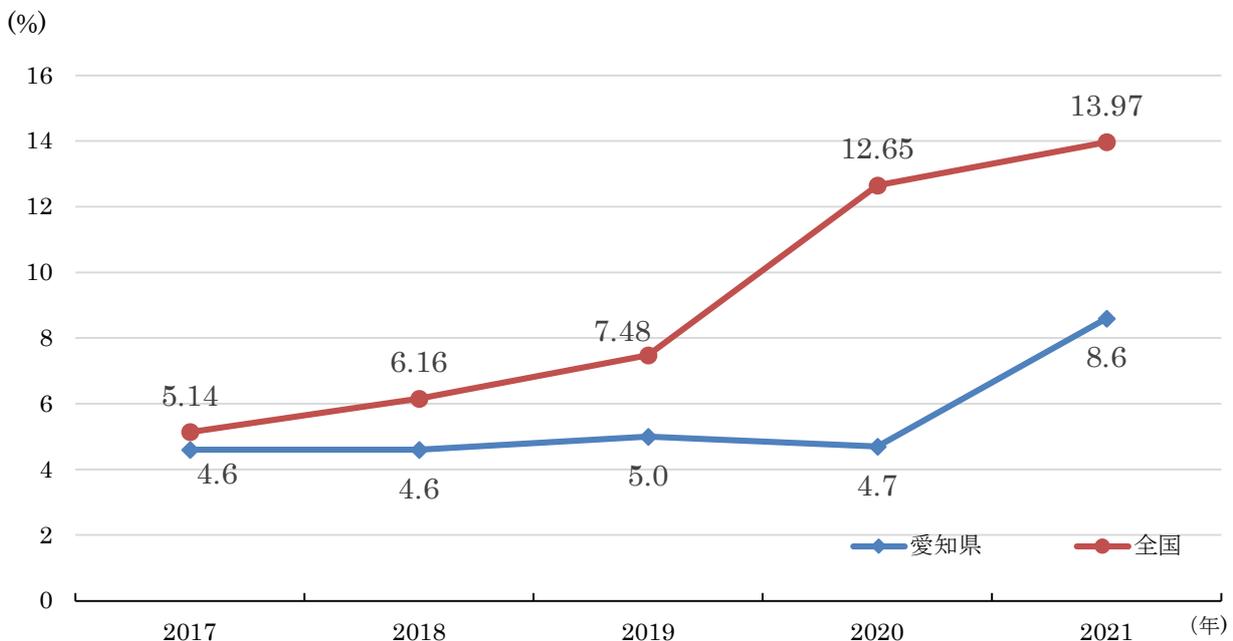
本県の男性の育児休業取得率は8.6% (2021年)となっており、前年に比べ3.9%上昇しています。

また、国は少子化社会対策大綱において、

男性の育児休業取得率を2025年までに30%とする目標を掲げていますが、13.97% (2021年)とまだまだ低い水準に留まっているのが現状です。

グラフでみてみよう

● 男性の育児休業取得率 (図)



資料：県労働福祉課「労働条件・労働福祉実態調査」
厚生労働省「雇用均等基本調査」

コラム：～ご存知ですか？「イクメン」と「イクボス」～

「イクメン」とは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のことです。育児休業は、積極的に子育てをしたいという男性の希望を実現するとともに、パートナーである女性側に偏りがちな育児や家事の負担を夫婦で分かち合うことができます。2022年10月から始まった産後パパ育休(出生時育児休業)も活用しながら、ワーク・ライフ・バランスを実践していきましょう。

「イクボス」は、部下の育児参画を応援するだけではなく、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。イクボスを増やしていくことが、イクメンや女性が活躍するための鍵となるのです。